

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)フレッシュパザール長岡京店		階数	地上2F
建設地	長岡京市神足大張12-1他		構造	S造
用途地域	埋蔵文化財包蔵地内		平均居住人員	200人
気候区分			年間使用時間	5,000時間/年
建物用途	物販店		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月	予定	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	5,103 m <sup>2</sup>		作成者	(株)日匠設計 森田恭介
建築面積	2,485 m <sup>2</sup>		確認日	
延床面積	2,434 m <sup>2</sup>		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 91%  
 ③上記+②以外の 91%  
 ④上記+ 91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 4  
 Q3 室外環境(敷地内): 3  
 LR1 エネルギー: 3  
 LR2 資源・マテリアル: 3  
 LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 隣地境界線から建築物をセットバックさせることにより、近隣に圧迫感を与えないように努めた。 また、道路境界線に面する部分には可能な限りオープンスペースを設け、周辺環境との調和に配慮した。		その他
<b>Q1 室内環境</b> 室内換気を十分に行い、内装使用材料も規制対象外材料を使用することで、シックハウス対策を行った。	<b>Q2 サービス性能</b> 機能性を重視し、使いやすく、安全で安心な建物となるよう計画した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建築物のファサードにはカーテンウォールを設置し、単調な壁面とならないようデザインし、周囲のまちなみとの連続性及び周辺環境に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 再生材を積極的に採用し、資源の再利用効率を高めるように努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地外の環境に悪影響を及ぼさないよう、建物配置等に配慮した。 西山の眺めや周囲の景観に圧迫感を与えないよう配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される